

リコーグループ環境行動計画(2005年度～2007年度) ※達成目標年度の記載がないものは2007年度が目標。

<p>1</p> <p>製品環境性能の向上と 環境技術開発の促進</p>	<p>1)新しい環境技術の開発 ※新技術開発状況の詳細につきましては公表しておりません。</p> <p>①資源投入量の削減を目指した環境技術開発を行う ②脱化石資源社会を目指した環境技術開発を行う</p> <p>2)製品環境性能の向上</p> <p>①製品省エネルギー ・リコー省エネ目標の達成</p> <p>②製品省資源 ・リユース部品使用質量を2003年度比5倍以上に向上(日本) ・再生プラスチック使用質量を1000tに向上</p> <p>③製品の環境影響化学物質排出基準の遵守 ・オゾン・粉じん・VOC類のリコー自主基準の遵守</p>
<p>2</p> <p>グリーン販売の推進</p>	<p>①再生複写機の販売台数向上 ・販売台数を2003年度比10倍以上に向上(日本)</p> <p>②用紙のグリーン販売の促進 ・古紙/パルプ配合率60%以上(日本)</p>
<p>3</p> <p>事業所・オフィスでの コスト効果を狙った 環境保全活動</p>	<p>1)事業所省エネルギー</p> <p>①事業活動に伴い排出するCO₂(総量)の削減 ・2010年度までにCO₂の排出量を1990年度比12%削減(リコー及び国内生産会社) ・2010年度までにCO₂の排出量を1998年度比10%削減(海外生産会社) ・CO₂排出量を2000年度比4%削減(リコー及び国内・海外の生産会社) ・CO₂排出量を基準年度比4%削減(国内非生産会社、各社単位で基準年度を設定)</p> <p>2)事業所省資源</p> <p>①廃棄物発生量の低減 ・廃棄物発生量を2000年度比3%以上削減(リコー及び国内・海外の生産会社) ・廃棄物発生量を基準年度から2007年度までの活動年数に年2%をかけた値で削減(国内非生産会社 各社単位で基準年度を設定)</p> <p>②廃棄物の再資源化率向上 ・再資源化目標95%以上(国内非生産会社)</p> <p>③用水使用量の削減 ・用水使用量を2000年度実績以下に抑制(リコー生産系事業所及び国内・海外の生産会社)</p> <p>④用紙使用量の削減 ・用紙使用量を2002年度比10%以上削減(リコー及び国内の生産会社・非生産会社、海外の生産会社)</p> <p>3)事業所汚染予防</p> <p>①塩素系有機溶剤の使用を全廃 ・自社生産分に引き続き、社外生産委託分の感光体製造における塩素系有機溶剤の使用を全廃</p> <p>②CO₂以外の温室効果ガスの排出量削減 ・半導体事業分野の温室効果ガス(CO₂以外)排出量を2000年度比15%削減</p> <p>③非生産系所有地、借用地に対する土壌・地下水汚染の調査・対策 ・非生産系所有地、借用地に対する土壌・地下水汚染調査の完了(リコー及び国内・海外の関連会社) ・汚染の検出された所有地、借用地については、計画的な改善を実施</p>
<p>4</p> <p>環境経営マネジメント システムのレベルアップと、 システム統合による 一貫性向上</p>	<p>1)環境経営マネジメントシステムのレベルアップ</p> <p>①ISO14001システムのレベルアップ ・環境マネジメントシステムの統合(リコー、2005年度/リコーグループ、2007年度)</p> <p>②製品含有化学物質マネジメントシステムの構築 ・リコーグループ製品含有化学物質マネジメントシステムの整備と強化(2005年度)</p> <p>③環境経営情報システムのレベルアップ ・資源投入の環境負荷情報をリアルタイムに管理可能な情報システムを画像事業以外にも拡大 ・物流の環境負荷情報をリアルタイムに管理可能な情報システムを海外拠点間物流にも拡大</p>
<p>5</p> <p>生態系保全を目的とする 環境社会貢献活動の推進</p>	<p>①生態系保全のための森林保全活動/環境社会貢献活動の実施 ・生態系保全を目的とした環境保全活動の実施 (海外の各極地域統括会社、国内のリコー生産系事業所・生産会社・販売会社、リコーロジスティクス、リコーリース、リコー三愛サービス)</p>